

2020年度神学校週間奨励

「蛇のように賢く、鳩のように素直に」

宣教研究所所長 朴 忠郁



未曾有の新型コロナウイルスのパンデミックの危機を生きています。国境を超えて、人種を超えて、階級を超えて、ありとあらゆる境界線を超えて、私たちに襲った新型コロナウイルスは、私たちの健康を脅かすことだけではなく、私たちがこれまで守ってきたライフスタイルを根底から揺さぶっています。それは単なる日常生活の防疫の次元だけではなく、「ポストコロナ」を生きるため「発想の転換」が求められているのです。教会も例外ではありません。私たちがすでに経験したように、これまでにないコロナ危機を通して、礼拝をはじめとする教会の伝統や慣習などが変化を求められているのです。

主イエスは、弟子たちをこの世にお遣わしになる際に、「わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに羊を送り込むようなものだ。だから、蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい」（マタイ10:16）とされました。「蛇のように賢く、鳩のように素直になりなさい」と言う

言葉は、当時のユダヤ人に通用されていたことわざとして知られていません。主イエスは、その言葉を用いて、この世の中で福音宣教に仕えるために求められる資質は、他ならぬ蛇のような賢さと鳩のような純粋さであることを力説されたのです。

教役者も信徒の一人で、教役者と信徒の間に何ら違いも認めないバプテストとして、神学校で学ぶということの意味を改めて問い直します。それは、聖職者という身分を得るためではなく、教役者という職分を果たしていく資質を備えられるためであると言えます。言い換えれば、常に聖書に照らし合わせて、今の時代の生の全領域における様々な事象を鋭く見抜き、的確に対応できるための力を養うことと同時に、神と隣人を愛し、他者と共に生きるための憐憫と歓待の精神を培っていくことなのです。

神学校週間をお迎えして、それぞれの神学校で勉学にいそしむ神学生の皆さんが、賢さと純粋さを兼備した学びに一層励むように共に祈ろうではありませんか。

「ポーっと生きてんじゃねーよ」（2020年度神学校週間にあたって）

全国壮年会連合副会長（神学校献金推進担当） 三室 日朗（西南学院バプテスト教会）

今年の「神学校週間」は6月28日（日）～7月5日（日）です。この1週間、全国の壮年が一つとなって、神学生・3神学校・教師のために祈り、彼らを支える決意を新たにするとして守ります。例年福岡地方連合壮年会は「神学校週間」が始まる前の週の金曜日、西南学院大学神学部のチャペル委員会と共催で「神学校週間を覚える集い」を守ってきました。しかし今年は新型コロナウイルスの感染の恐れがある「三密」を避けるために中止しました。

2018,19年度と私たちは献金目標額を大きく下回る1900万円台の献金しか(?)集めることができませんでした。と同時に、西南学院大学神学部に入學する神学生も2年続きでゼロでした。従って今年神戸での全国大会が予定通り開催できていたならば、全国壮年会連合役員会は献金目標額を見直す提案をすることを考えていました。

教会の力が下がっています。教会員の高齢化・礼拝出席者の減少・牧師の引退その他いろいろな原因があります。それに伴って神学校献金額が年々下がっていることに対して、「壮年会連合の役員は何をやっているんだ？ポーっと生きてんじゃねーよ！」とお怒りの方はたくさんおられますが、残念ながら積極的なアドバイスをしてくれる信仰の友が少ないことを寂しく思います。

しかし金額が少なくなったとはいえ1900万円もの献金を献げてくださる信仰の友が全国にいます。壮年会の働きを支えてくれる友がいます。これは大きな財産です。今年はコロナ禍の中でこれまで以上に「神学校献金」を集めることが困難だということを皆さんも肌で感じておられることですが、知恵を出し合って献げましょう。

牧師の皆さんにお願いがあります。これから神学校を目指そうという若い世代を壮年と共に育てましょう。神学生時代の皆さんを支えた奨学金の維持のために、率先して神学校献金を献げ、「献金額：0円」の教会が無くなるように、牧師の皆さんが模範を示してください。期待しています。

神学校献金（神学生奨学金献金）の推移

年度	献金額
2010年度	2,325万円
2011年度	2,345万円
2012年度	2,228万円
2013年度	2,292万円
2014年度	2,284万円
2015年度	2,227万円
2016年度	2,235万円
2017年度	2,299万円
2018年度	1,986万円
2019年度	1,944万円

西南学院大学神学部及び東京・九州両バプテスト神学校で学ぶ神学生

神学生氏名（学年、よみ、推薦教会）

【西南学院大学神学部】 11名 <2020年度奨学金貸与者数：9名>

博士前期	西本詩生(2年・にしもと しなる・恵泉)、興津吉英(2年・おきつ よしひで・かたえ)、原田 賢(2年・はらだ けん・大宮)、高橋周也(2年・たかはし ひろや・花小金井)、安里道直(1年・あさと みちなお・東風平)、嶋田健治(1年・しまだ けんじ・直方)、奥村献(1年・おくむら ささぐ・恵泉)、
学部神学コース	原田 仰(3年・はらだ こう・平尾)、吉田睿濫(3年・よしだ いえらむ・博多)
選科	千葉仁志(3年・ちば ひとし・小倉春ヶ丘)、林 守鎮(2年・いむ すじん・鳥飼)

【東京バプテスト神学校】 6名 <2020年度奨学金支給予定者数：3名(第1回連盟理事会にて決定)>

神学専攻科	李 在浩(い じえほ・松本福音村 相模原希望伝道所)、小勝 琢生(おがつ たくお・調布南)、清水 智子(しみず さとこ・洋光台)、鶴ヶ谷 芳昭(つるがや よしあき・大井)、真柄 光久(まがら てるひさ・大井)、舛田 栄一(ますだ えいいち・洋光台)
-------	--

【九州バプテスト神学校】 5名 <2020年度奨学金支給予定者数：2名(第1回連盟理事会にて決定)>

専攻科	香月太郎(かつき たろう・日本バプテスト連盟 早良キリスト教会→現在休学中)、近藤浩久(こんどう ひろひさ・日本バプテスト春日原キリスト教会)、南 雅夫(みなみ まさお・日本バプテスト連盟 伊丹キリスト教会)、河野正成(かわの まさなり・日本バプテスト連盟 キリスト教佐賀新生教会)、間村史子(まむら ふみこ・日本バプテスト連盟 宇美キリスト教会)
-----	--

※九州バプテスト神学校では、2020年度から「牧師・主事コース」を「専攻科」へ名称変更しました。

【神学校献金（神学生奨学金献金）について】

【名称】神学校献金は従来から、西南学院大学神学部(以下西南神学部と略す)で学ぶ神学生(大学院生も含む)の授業料と生活費の一部を支えるため、奨学金という形で用いられてきました。2012年度から連立等の神学校で伝道者となるために学ぶ神学生—東京バプテスト神学校(以下東バプと略す)の専攻科、九州バプテスト神学校(以下九バプと略す)の専攻科、にも用いられることになりました。そこで「神学校献金」の用途を明確にするため、2013年度より「神学校献金(神学生奨学金献金)」という名称に変更いたしました。

【内容】西南神学部神学生には、授業料等の費用として1種奨学金を貸与し、生活費補助として2種奨学金を給付しています。このうち1種奨学金については返還の義務があります。東バプと九バプの神学生には、授業料の一部を奨学金として支弁しており、こ

らは両神学校の奨学金規程により返還の適否が判定されます。

【返還】西南神学部神学生の1種奨学金の返還については、2019年度の総会で返済条件が緩和される形で規程が改定されました。従来は卒業後4年以上伝道の業に従事し、卒業後10年以内に1種奨学金の2割以上返還した場合、その残額の返還は免除されました。2019年度在学学生からは、返済期間を15年に延ばすと同時に、伝道の業への従事期間が2年以上、4年未満の場合でも、返済額は貸与額の3割または5割が免除されることになりました。詳細は壮年会連合のホームページで規程を参照して下さい。

【献げ方】毎年6月に行われる神学校週間を用いて献金される教会・伝道所が多いと思いますが、年間を通して神学校献金を献げているところも増えています。全国壮年会連合は本活動を積極的に推進していますので、壮年の皆さまにはぜひ教会の皆さんに働きかけていただき、教会全体の業となっていくことを期待しています。